

# 島勝(月の宮)2度目V

## 都2位 村上3位 生光学園勢上位占める

ゴルフ

四国女子アマ選手権

ゴルフの第40回四国女子アマチュア選手権は12

日、高知県日高村のグリーンフィールゴルフ倶楽部(62338円、バー)で最終ラウンドが行われ、生光学園高3年の島勝ひなた(月の宮)が通算4アンダーの140で3年ぶり2度目の優勝を果たした。初日首位だった都玲華(タカガワ)が東、生光学園高3年)が2打差で2位、さらに3打差の3位に村上美空(滝の宮、生光学園高3年)が入り、上位3位ま

で徳島県勢が占めた。首位と3打差の3位でスタートした島勝は4、8、9番のバーディーで前半アウトを3アンダーで折り返すと、後半をバーディーでまとめ、この日のベストスコアの69で回った。2位の都はボギーが先行し、スコアを二

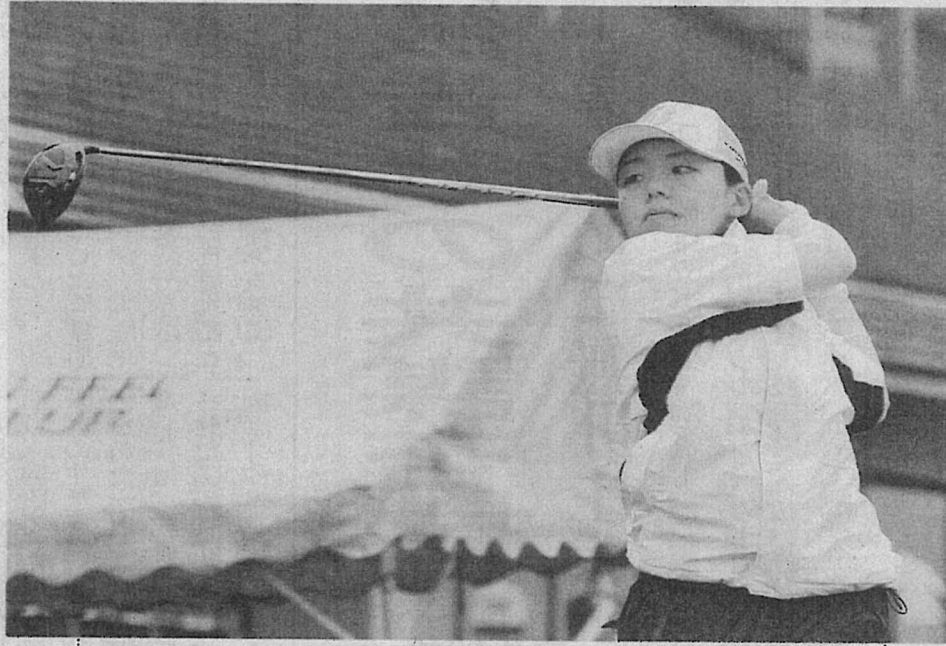
つ落とした。3位の村上は終盤の4連続ボギーが響いた。上位5人が日本女子アマチュア選手権(6月13、16日・鳥取県大山GC)の出場権を獲得。25歳以上の上上位5人は日本女子ミッドアマチュア選手権(11月19、20日・福岡県福岡CC)に出場できる。

エーを外すことが多く、バーディーチャンスをつくれなかった。調子が悪くても耐えて2位に入れるように粘った。

村上美空(後半に首位と並走も終盤の連続ボギーが響き3位)「スコアを五つ伸ばした後、トップと並んでいるのを知った。優勝を意識してしまい、好調だったショットとバットに狂いが出た」



都玲華(単独首位から出て2打差の2位)「ショットでフェアウ



通算4アンダーで2度目の優勝を果たした島勝—高知県日高村のグリーンフィールゴルフ倶楽部

### 同級生との接戦で底力 島勝

中学3年生だった2018年以来となる2度目の栄冠。「優勝は頭の片隅にあったけど意識しないようにしていた」という島勝は、「今日は自分のプレーができた」と納得の表情で接戦を振り返った。

終盤3ホールを残し、同じ組で回る生光学園高のチームメイト2人と同スコアで並ぶ展開。残りホールを全てパーセーブした都、3連続ボギーとした村上に対し、島勝は17番で1・5打、18番で3打超のバーディーバットを立て続けに沈め、粘るライバルを一気に振り切った。

「一打一打を丁寧に打つことを心掛けた」というこの日は、重点的に練習してきたバンカーショットで再三のピンチをしのいだ。2番と16番のショットで第1打を引っかけバンカーに入れたものの、いずれもピン下2打に寄せてパーセーブ。要所を押さえ流れを離さなかった。

勝負どころでショットとバットが噛み合った島勝。前回53位に終わった日本女子アマに向け、「プレッシャーのかかる場面でのプレーの精度を高め、トップ5入りを目指す」と口元を引き締めた。(須見千次郎)

#### 最終成績 (9位まで)

①	島勝ひなた(月の宮)	-4	140(71、69=33、36)
②	都 玲華(東徳島)	-2	142(68、74=38、36)
③	村上 美空(滝の宮)	+1	145(74、71=34、37)
④	森村 美優(屋 島)	+2	146(74、72=36、36)
④	中村 真菜(SGU)		146(69、77=39、38)
⑥	澤田 珠里(SGU)+4		148(72、76=39、37)
⑦	森田 彩夏(屋 島)+5		149(72、77=39、38)
⑧	田口 夏鈴(スカイ)+8		152(77、75=37、38)
⑨	加藤 菜摘(スカイ)+9		153(76、77=39、38)
⑨	三瀬 舞愛(宇和島)		153(75、78=41、37)
⑨	大内 瑞喜(スカイ)		153(74、79=42、37)

(表中の東徳島はタカガワ東、SGUは四国ゴルフ連盟、スカイはスカイベイ)